

地域の“見守りサポーター”

ふくし すいしんいん

福祉推進員を

知っていますか？

福祉推進員とは…

福祉推進員は、越谷市社会福祉協議会（略称：社協）の養成研修を修了し、社協会長から委嘱を受けた

“地域の見守りサポーター”（ボランティア）です。

主に近隣の見守り活動やふれあいサロンの運営などを通し、身近な地域生活上の課題（困りごと）をキャッチし、適切な機関につなぐ役割を担っています。

★福祉推進員養成研修を年2回開催しています。（詳しくは下記までお問い合わせください。）



PICK UP! 福祉推進員の機能、役割

福祉推進員は、

①見守る、異変に気付く

（高齢者のみ世帯や地域で困っている人など）

②知らせる

（民生委員、自治会、地域包括支援センター等へつなぐ）

③つながる、はじめる

（福祉課題を支える取り組みをはじめる）

④ひろげる

（取り組みへの理解をひろげる）

という4つの機能を持っています。

★平成29年8月現在、越谷市内には、約600名の福祉推進員が各地域にいます。

活動例：「ふれあいサロン活動」

高齢者や子育て中の親子など、寂しさや不安を抱える方がいきいきと地域で暮らせるよう、地域住民が自主的、主体的に行う居場所づくり活動をいいます。 →詳しくは裏面へ

地域の福祉課題を一緒に考える「仲間」として、福祉推進員がいます。



★「具体的に福祉推進員について知りたい！」
「福祉推進員になってみたい！」
「ふれあいサロンをやってみたい！」
など、ご興味のある方は、下記までお問い合わせください。

■ 越谷市社会福祉協議会 地域福祉課 ■

〒343-0813 越谷市越ヶ谷四丁目1-1
越谷市中央市民会館2階
TEL：048-966-3411

福祉推進員は、 こんな活動を しています



1. ふれあいサロン

地域の身近な生活の場（自治会館や地区センター等）を会場に、高齢者や子育て中の親子など、寂しさや不安を抱える方がいきいきと地域で暮らしていけるよう、地域住民が自主的、主体的に行う居場所づくりの活動をいいます。

「気軽に」「楽しく」「無理なく」をモットーに、市内90か所以上の会場で開催されています。

小地域単位での見守り活動の方法の一つとして行われるこの活動では、福祉推進員が中心となって活躍しています。

2. 身近な地域で支えあうしくみを築くために・・・ 情報の共有、発信

高齢者の孤立死や子供の貧困など、地域には様々な福祉課題や「悩み」があります。福祉推進員は、そういったニーズを受け、地域の民生委員・児童委員や地域包括支援センターなどの関係機関につないだり、地域で支え合うしくみを考える役割を担っています。

また、地区によっては福祉推進員で定期的に集まり、情報交換などの機会を設けたり、独自の活動を検討するなど、よりよい連携体制づくりのために動き出している方もいます。



■福祉推進員の基本姿勢■

①秘密は厳守します

活動上知り得た個人の情報（プライバシー）は、問題解決以外には使いません。

②福祉推進員の立場を利用しません

興味本位で聞き出したり、宗教や団体などへの勧誘、営利目的の物品販売・紹介はしません。

身近な地域で支えあうしくみを築き、それぞれの地域の困り事や心配事などの解決に向けた方法や活動内容を考えて、地域の皆さんで取り組んでいく地域活動を小地域福祉活動といいます。福祉推進員は、決して専門家ではありませんが、地域の悩みを共有し、小地域福祉活動を推進する仲間の一人でもあります。あなたの地域には、どんな悩みを抱える方がいますか。私たちと一緒に考えてみませんか。

★福祉推進員、ふれあいサロン、地域福祉に関するお問い合わせ・・・越谷市社会福祉協議会 地域福祉課（表面へ）